

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 2

令和4年4月28日発行 校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子

徳 心豊かで思いやりのある子

体 進んでやりぬくたくましい子

「チーム」による授業デザイン力向上を目指して

太田 等

新学期スタートから3週間が経とうとしていますが、子ども達は新しい学年を新しい先生と共に勉強や児童会活動等に意気揚々と励んでいます。

本日は一年生を迎える会が行われました。この会は、1年生が上級生とともに楽しく過ごし、学校生活に慣れる等を目標に、5・6年生の企画運営により開催されました。子ども達はこうした集会活動等を通して、1年生を歓迎する態度や目標をもった企画を立案し、実行する力を身に付けていきます。1年生にとっては、上級生から特別に歓迎され、楽しい時間になったことと思います。

さて、16日には今年度1回目の参観授業と全体懇談会を開催いたしました。全体懇談会では私から、目指す子ども像である「自分の考えをもって豊かに伝えられる子」を実現するための方針等を次のように説明いたしました。

まず、学力が定着しない原因として「活動あって学び無し」という「教師と子どもがやりとりで終始する授業」「子どもが楽しそうな活動に終始している授業」を示しました。

本校では、子ども達に確かな学力を保障するために新学習指導要領で示された「何を学んだかが分かる（知識・技能の習得）」「何ができるようになったかが自覚できる（言語能力=思考・判断・表現力）」「学ぶことの喜び・充実感を実感させる（学びに向かう力・人間性）」の3つの資質能力を育成する「西春別小スタンダード（以下、西スタ）」を推進していきます。

西スタは、ここ数年間、別海町教育研究協議会及び別海町生きる力アッププロジェクトの外部講師として招聘された樺山敏郎先生の教育講演から学んだ授業デザインの在り方を組織的に行い、学力向上と授業改善を持続的に推進していくものです。主に各教科の中核となる国語科を中心にチームで推進していきます。

西スタの1つにタイムスケジュールの提示があります。これは、児童の主体的な活動を保障するものです。具体的には、このタイムスケジュールをあらかじめチームスに添付する等、児童が朝登校したら、タブレットを開き1時間の授業の見通しをもたせるようにするものです。これにより、子ども達は教師の細かい指示を受けずに、児童自らタイムマネジメントし、学習を進めることができます。これだけでも学習を自分のものとして行うことができます。チームスの活用はまだ行われていませんが、今後徐々に取り組んでいきます。

過日、AIを活用したという教育に関するある番組で「ベテラン教師の発話時間は児童よりも相当短く、経験不足の教師は児童よりも長い。」という数値結果がありました。これからも授業デザイン（構想）力の必然性が分かります。これからの教育で求められているのは「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現（中教審答申）」ですが、それを可能にするのは、これからの予測困難な時代を視野に入れた教師のアップデート力です。

本校では、目指す子ども像実現のため、授業デザインをチームで共有し、教師の授業力を高めていけるよう研修を積み重ねていきます。